

# 令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園（フォレストヒルズガーデン地区）		
所在地	三原市本郷町上北方 1361		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	多目的ホール棟、セミナーハウス、コテージ、テニスコート等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	広島空港ビルディング・広島エアポートホテル共同企業体
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	広島空港ビルディング・広島エアポートホテル共同企業体
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	広島エアポートビレッジ開発・広島エアポートホテル共同企業体 ⇒広島空港ビルディング・広島エアポートホテル共同企業体 (平成22年9月1日～)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	広島エアポートビレッジ開発・広島エアポートホテル共同企業体

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R2	37,000人	17,021人	△13,070人
R1		36,400人	30,091人	△6,588人	△6,309人 (82.7%)
	3期平均 H26～H30	36,200人	36,679人	△34人	479人 (101.3%)
	2期平均 H21～H25	39,300人	36,713人	△9,343人	△2,587人 (93.4%)
	1期平均 H18～H20	—	46,056人	△2,668人	—
	H17 (導入前)	—	48,724人	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月、5月を休業したことや、会議室などの利用キャンセル・延期が相次いだことにより、目標を達成できなかった。				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	旅行サイトの口コミ評価	コテージ利用者 44人
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	コテージでのバーベキューや料理について好評であった。	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、更なる満足度向上に向けて取り組む。
	冬場は風呂場等が非常に冷え込む。	窓からの隙間風の流入を防ぐため、冬場は窓枠に厚手の発泡スチロールをはめ外気を遮断する。

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報 (必要随時)	— 緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議 (6月・現地)	<b>【特記事項等】</b> 空港民営化に伴う周辺地域との連携、交流強化 <b>【指定管理者の意見】</b> 空港民営化に伴い新たな社長が就任したことを受け、広島県及び中四国の中心として、周辺地域との観光により力を入れ、空港全体で盛り上げていきたい。 <b>【県の対応】</b> 三景園等の空港周辺施設や周辺地域の施設との協議や調整に対し協力し、イベント等の実施に際しては積極的に広報する。	
現地調査 (2月)		

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R2	55,963		7,356	料金収入 (決算額)	4期	R2
R1			48,607	778	R1	85,833			△5,353
3期平均 H26～H30		47,829	1,329	3期平均 H26～H30		91,186		18,372	
2期平均 H21～H25		46,500	11,398	2期平均 H21～H25		72,814		△1,930	
1期平均 H18～H20		35,102	△11,525	1期平均 H18～H20		74,744		△6,167	
H17 (導入前)		46,627	—	H17 (導入前)		80,911		—	

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R2 決算額	R1 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	55,963	48,607	7,356	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県からの利用制限による料金収入減収分に対する委託料の増
		料金収入(※1)	52,524	85,833	△33,309	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減
		その他収入	65,196	193,300	△128,104	会議室の利用減に伴う飲食等の売上の減
		計(A)	173,683	327,740	△154,057	
	支出	人件費	87,637	105,733	△18,096	会議室の利用減に伴う人員配置の見直し
		光熱水費	15,725	20,859	△5,134	休業に伴う減
		設備等保守点検費	1,705	2,082	△377	エアコンをガスから電気に換えたことによる点検費の減
		清掃・警備費等	24,922	27,119	△2,197	コテージの利用減に伴う掃除回数の減
		施設維持修繕費	1,439	2,020	△581	修繕箇所の減
		事務局費	10,361	22,340	△11,979	管理経費の減
		その他	63,303	141,739	△78,436	会議室の利用減に伴う飲食等の仕入れの減
	計(B)	205,092	321,892	△116,800		
		収支①(A-B)	△31,409	5,848	△37,257	
	自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		△31,409	5,848	△37,257		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	GoTo トラベルキャンペーンと広島県民割にコテージ宿泊プランを導入し、県民の利用促進を図った。	利用者増に向け、新たな取組を展開するなど業務運営に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、利用者が施設を快適に利用できるように、ホテルと連携しコテージ宿泊者への朝食及び夕食デリバリーを行った。	新型コロナウイルス感染防止対策の徹底のほか、施設の利用者に対するサービスの向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	GoTo トラベルキャンペーンを利用し周辺施設と連携した宿泊プランを導入し、利用者の増加に努めた。	周辺施設との連携した宿泊プランで利用者増に努めている。
	○施設の維持管理	施設の点検を実施し、修繕が必要な箇所については県と連携して対応した。	安全面や施設運営に支障を来たすものを優先に対応している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	休業や利用減に基づいた人員配置を行った。	利用状況に応じて組織体制の見直しを行っている。
	○効率的な業務運営	ホテルと一体的に施設管理業務を行うことで、業務実施の効率化・経費の縮減を図った。	更なる業務の効率化を図るなど、経費縮減に努める必要がある。
	○収支の適正	緊急事態宣言に伴う休業や GoTo トラベルキャンペーンの一時停止によって利用者が大幅に減少し、赤字となった。	会議など多目的ホールの利用が大きく減少しているため、利用者増につながる取組を実施し、収支の適正化を図る必要がある。
総括		新型コロナウイルス感染症の影響により、多目的ホールやコテージの利用者数が大幅に減少し、目標を達成することができなかった。	空港周辺施設との連携利用を一層進め、空港一体で利用者の増加を図る必要がある。

## 8 今後の方向性 (課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和3年度)	引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、利用者に好評なイベントを引き続き実施する。また、コロナ禍でも会議室の利用促進につながる取組を検討する。	引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の実施を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症による利用者ニーズの変化を踏まえて、より効果的な取組を実施できるように支援を行う。
中期的な対応	老朽化した施設の維持・修繕について、県と協力しながら適切に実施するとともに、利用者増となる効果的な取組を行う。	老朽化した施設の状況や利用者ニーズを踏まえ、指定管理者と協議を行い、優先度の高い箇所から計画的に対応を行うとともに、利用促進策について、必要な支援を行う。